

## 『韓国語』

## 第1 高等学校教科担当教員の意見・評価

## 1 前文

問題の形式は本試験と同様である。若干本試験より難易度が高いと思われる出題もあるが、大きな差となりうる出題ではなかった。全体的な評価も本試験と同様であるので、ここでは省略する。

例年どおり本分科会では、平均点を基にした評価は行わず、「高等学校で4～5単位を3年間学習した生徒」が受験することを想定して各問題の評価を行う。また、その際の難易度の基準として、中級水準となる、韓国語能力試験（TOPIK）のⅡ（3～4級）及び「ハングル」能力検定試験の3級～準2級、CEFRB1～B2 レベルを想定していることをここに明記する。

なお、評価に当たっては、報告書（本試験）15 ページに記載の8項目の観点により、総合的に検討した。

## 2 内容・範囲

本試験同様、前文の「高等学校4～5単位を3年間学習した生徒」の学習到達度を測ることのできる問題であるかどうかを判断した。また、紙面の制限上、適切とは言えない問いを中心に上げることとする。

## 第1問

## A 発音に関する問題

本試験の評価と同様に音の変化の規則の知識のみを問うことが、真のコミュニケーション能力を測ることになるか疑問である。

問2は規則的な音変化であれば有声音化するが、例外的に濃音化をする単語を問うている出題であり、そのような「知っているかどうか」を問う出題が共通テストにふさわしい出題か、今一度考えていただきたい。

## B 適切な助詞、語尾、語彙を選択する問題

問1は、本試験では「ㄷ変則」ではなく「ㄹ変則」であると分かれば解ける問題であったが、追・再試験では、「ㄷ変則」ではなく「ㅇ変則」と分かれば解ける問題で、その知識のみを問う出題は良問とは言えない。

問3の「바짝」, 「멈칫」, 問4の「-건만」, 「-건대」, 問5の「술」は、学習範囲外の語彙や語尾で良問とは言えない。

## C 日本語文を韓国語文に直す問題

本試験と同様の評価であり、また、表現を知っているかどうかのみを問う問題は良問とは言いがたい。

第2問 比較的長い会話文を読んで、空欄に入れる適切な表現を選んだり、会話文の内容を把握したりする問題。昨年度の出題と同様に、視覚的、聴覚的な情報なしに、誰がどのような発言をしているか考えながら読まなければならない、読解の問題になってしまっているところが懸念される。

A 道で偶然会った友人3人がある展示会について話している会話文。上記で述べた点以外は、学習範囲内の語彙や語法で適切な問題と言える。

B 同じ学校を卒業した先輩と後輩がある業務について話している会話。語彙、表現、場面設

定共に適当であると言える。

第3問 グラフや図表、イラスト等を使用した出題で、実際にありそうな場面や状況を想定し作成されれば良問となりうる。

A ある店における飲み物の販売数の比率を夏と冬で比較したグラフからの情報を読み解く問題。学習範囲内の語彙や語法で良問と言える。

B ウェブサイトに掲載された配送センターのアルバイト募集の案内文から必要な情報を読み取る問題。学習範囲内の語彙や語法で良問と言える。

C 授業中に学生に配布されたという設定の案内文を読み取り、クロスワードも解くという非常に興味深い問題である。受験者が進学後の生活をイメージできそうな設定となっており、適切な資料と言える。

問1 各段落の文意を正確に把握すれば解ける問題。良問と言える。

問2 クロスワードパズルを実際に解いてから、適切なものを選ぶ問題である。良問である。

問3 これも実際にクロスワードパズルを解いた上で適切なものを選ぶ問題である。A, B, Cに入る文字を繋いで単語を完成させることができれば、適切なものを選ぶことができる。良問である。選択問題が会話文になっている点が非常に工夫されている。

第4問 森と人間は切っても切れない関係であることを論じたエッセイ。本試験と同様の環境問題がテーマの内容であるが、専門用語が若干多くやや難易度が高めである。

問1 文章に使用された漢字語の1漢字と同じ漢字が使われている漢字語を選ぶ問題。本試験同様文中に挿入することで自然な形での設問となっている。(イ)は、日本語では「脅威」であるが韓国語では「威脅」となり、それが選択肢の「権威」の「威」に結び付くかである。「危険」の「危」と間違いやすいと考えられる。

問2 本文と問いの文を読めば解ける問題であり、文意を正確に把握すれば解ける問題である。

問3 (あ)の段落を読み、その段落を表す四字熟語を選ぶ問題であるが、日本語の国語力が問われる問題にもなっている。

問4 36に入る言葉を選ぶ問題。「微生物の活動は土地を36し、森の中の植物をより豊かにする」という文だが、②기름지게 の 기름を「油」と捉え、実際の意味の「栄養分が豊富な」と思わない可能性が高く、高等学校韓国語学習者にとっては難しいのではないかと考えられる。

問5 本文と問いの文を読めば解ける問題である。

問6 「이러한 과정 (このような過程)」を指し示す箇所を探し出すことができれば解ける問題である。

問7 本文と問いの文を読めば解ける問題である。その段落以前を読むと森の環境変化の危機を述べているため「危機感」を選ぶことができるだろう。

問8 本文と問いの文を読み、文意を正確に把握すれば解ける問題である。

問9 本文と問いの文を読み、文意を正確に把握すれば解ける問題である。前の文で「그러나 이것을 진정한 숲의 회복이라 할 수는 없다 (しかしこれを正しい森の回復とは言えない)」と主張する文があるため、その後に理由を表す文が来るのが妥当であると考えられる。

問10 本文と問いの文を読み、文意を正確に把握すれば解ける問題である。

### 3 分量・程度

全体的な分量については本試験とほぼ同じである。評価も同じで、会話文や長文の本文の分量を少し減らし、それに合わせて設問数も減らし、大問数を増やせば全体の量は変わらず、受験者の負

担を減らすことができるのではないだろうか。

#### 4 表現・形式

第1問に関する評価は本試験と同じである。第1問の形式を変え、知識のみを問う問題ではなく、思考力を問う、共通テストにふさわしい出題形式に変えることを切に願う。第1問Cも並び替えではなく、会話文や長文の中に挿入した形式での出題にしてほしい。

#### 5 まとめ（総括的な評価）

今回の共通テスト韓国語（追・再試験）の問題は基本的には、共通テストにふさわしい出題となっていると思われる。表やグラフ、絵、パズルなどを導入するなどの工夫が見られ、興味深い問題内容となっていた。

ただし、知識だけを問う出題や、学習指導要領「韓国語」の学習範囲から逸脱した語彙も見られたため、そのような出題は極力避けるべきである。さらに第4問の長文読解は、一つの設問の本文の分量を減らし、大問数を増やしてみてはいかがだろうか。